

条幅規定

師範正 徳永 仁美

明治の日本の書道界に大きな影響を与えた、楊守敬を彷彿とさせる作風で、余白や字間をゆつたりと取りながら変化のあるシャープな筆致で構築性豊かな作品である。古典から多様な線の学習を。

条幅随意(臨書)

師範正 江頭 紫静

書風は初唐の清爽さから晩唐の豊満さを好む時代思潮へと流れ移し、古典派最後の好尚として顔真卿はこの書を残したという。褚遂良の筆法に豊艶な肉付けと独自の顔法がよく表現され、日々の研鑽を感じる。

条幅随意

師範正 溜 鶯舟

気の向くまま、筆の成すまま、自由に紙に筆を走らせ、書く楽しさ、飄然の魅力がある。手本にとられず、朴直の様が魅力で飽きさせません。やや読みにくい文字があるので、一考を。

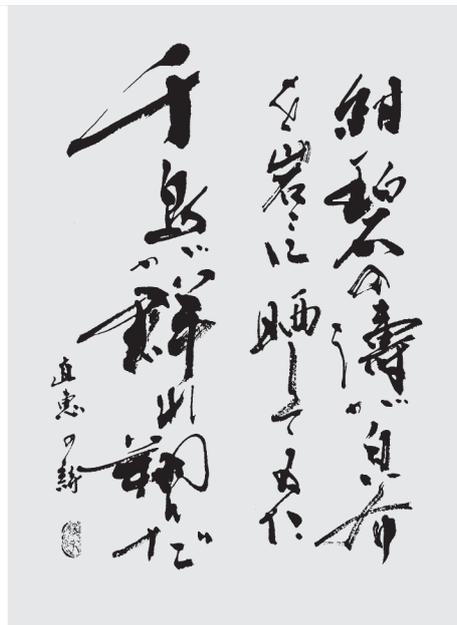
一般部毛筆最優秀作品

(7月末日締切分)

半折 ½横

成 家 伊良子喜代

毎月随意は仮名の優美な作品を発表しているが、今回は金文調の漢字作品に挑戦。リズムよく強靱な運筆で纏められ威厳のある落ち着いた風格に好感がもてる。仮名の線の鍛錬にも漢字古典が必須。期待している。



半紙規定

成 家 深町 鳳月

木簡・隸書の線を活かし、迷いのない筆勢で、威風堂々たる泰然とした安定感があり、その迫力と自信が作品に漲った快作である。

半紙随意

師範正 榎藤 陽子

迷いのない慣れた筆捌きで読み易く安定した作。好感度は高いが月例では冒険や挑戦もしてほしい。変化球や隠し玉も期待している。

半紙随意(臨書)

師範正 榎澤 美奈

墨量豊かに厚みのある顔真卿の特徴を網羅した筆致で纏められた白眉の作。落款がやや調子書きになったのが惜しい。次回を期待。

働く
凜子

のは花す
杏莉

ダサラ
はるか

輝ける未来
吉武由偉

月光
中一徳丸仁菜

雲海
侑楽

光
えま

なす
（ねん）おかそうた

輝ける未来
中三 珠梨

働く
六年 円田海翔

のは花す
清那

なす
（ねん）おかそうた

城戸 凜子
小六 四段
全体のバランスのよい明るい作品です。小筆をもうすこしおろして書くこと、名前がさらに良く、頑張ってください。

小四 3級
ていねいな筆づかいで形よくかかっています。上位有段者にも負けない力を持っています。今後さらにきたいしています。

渡部 遥
小二 準4級
一じお手本をよく見て、どしてもていねいにしっかりとかたちよく書いています。なまえもきちんと書けましたね。

吉原 愛真
小三 準2級
基本の筆使いがしっかりと出来漢字と平仮名のバランスの良い明るい作品です。中三の今でも書道が続けている点が立派です。一般部へも挑戦しましょう。

徳丸 仁菜
中一 準特待生
行書のリズムをしっかりとらえ、バランスよく明るく書けています。名前も見事。特待生を目指して、頑張ってくださいね。

山本 侑楽
小五 五段
力のこもった強い線です。日頃の練習の成果だと思えます。この調子でさらに上を目指してくださいね。

成澤 清那
小四 準四段
一字一字しっかりと練習のできた作品です。さすが上位有段者ですね。漢字と平仮名のバランスもよい明るい作品です。

岡 奏太
小一 準8級
むずかしいかだいでしたが、どうしようと、かたちよくかかっています。これからこのようにがんばるのしみです。

硬筆部最優秀作品

(7月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>深い田沢湖の環境に合わせて生きていたクニマスが、どうして浅い西湖で命をつないでいたのだろう。生物にはそれぞれ子孫を残していくために必要な環境がある。</p> <p>氏名 長嶺 紗子</p> | <p>千年先のわたしたちの周りはどうなっているだろう。あのビル、あのマンション、そして、わたしたちの住んでいる家々、きつと、かけも形もないだろう。</p> <p>氏名 藤崎 涼菜</p> | <p>セタに、ねがいごとをたんに書くに書いて、セタ、竹につるすとねがいがかかなくなつと言われています。</p> <p>氏名 吉村 奏風</p> | <p>あしたは えんそく く あいうえお たんけん てくて く たちつてと く 山下みずは</p> |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>夏の夜空は、他の季節に比べて星座が華やいだとは言えないが、何故か目を凝らす。涼風に吹かれて、天空の無辺に身の卑小を思い、世の無常を知るのが、消夏法になるのかも知れない。</p> <p>氏名 阪井 浩子</p> | <p>こよみのうえでは、立夏から立秋の前日までを「夏」といいます。夏から秋へと向かっていくこのころの季節の様子とは、どんな言葉で表されているでしょう。</p> <p>氏名 藤原 沙衣</p> | <p>完成させた新聞を、グラスのみんなで読み合い、内容や書き方について、感想をつたえ合います。</p> <p>氏名 坂口 陽妃</p> | <p>広い 海のどこかに、小さな魚のきょうだいたちがくらして、いた。つじ本たくま</p> |
|---|---|---|--|

| | | |
|--|---|---|
| <p>深い田沢湖の環境に合わせて生きていたクニマスが、どうして浅い西湖で命をつないでいたのだろう。生物にはそれぞれ子孫を残していくために必要な環境がある。</p> <p>氏名 富永 愛</p> | <p>完成させた新聞を、グラスのみんなで読み合い、内容や書き方について、感想をつたえ合います。</p> <p>氏名 浜本 心愛</p> | <p>セタに、ねがいごとをたんに書くに書いて、セタ、竹につるすとねがいがかかなくなつと言われています。</p> <p>氏名 田崎 咲良</p> |
|--|---|---|

| | | |
|--|--|--|
| <p>山下みずは 小一 7級 一じいおてほんをよくみて、げんきよくかけましたね。よくれんしゅうができています。これからがんばってくださいね。</p> | <p>辻本 拓真 小二 準3級 力づよい線でマスイっぱいにげんきよく書いています。このちようしでこれからもたくさんれんしゅうしましょうね。</p> | <p>田崎 咲良 小三 初段 お手本をよく観て、形よく、とてもいいねいに書いています。よく練習のできたすばらしい作品です。今後に期待大です。</p> |
| <p>吉村 奏風 小三 初段 明るくすっきりとした線で、とても丁寧な書けています。漢字と平仮名のバランスもよく、名前もとても上手な作品です。</p> | <p>坂口 陽妃 小四 準四段 お手本をよく見て、一字一字と丁寧な書けています。ペンの使い方も見事です。さすがに上位有段者の作品です。</p> | <p>濱本 心愛 小四 初段 ペンを上手に使用して、漢字と平仮名の大きさをよく書けています。形よく書けています。今後の成長が楽しみです。</p> |
| <p>藤崎 涼菜 小五 四段 書き始めから名前まで集中して全体のバランスがよく明るく書けています。さすがに上位有段者です。今後に期待大です。</p> | <p>藤原 沙衣 小六 準六段 気のこもった線、明るく伸びやかに書けています。漢字と平仮名のバランスが見事で、形も良く完成度の高い作品です。</p> | <p>富永 愛 中学 特待生 さすがに特待生の作品ですね。大人顔負けのすばらしい作品です。今後は一般部へも挑戦して下さい。今後の愛さんに期待大!</p> |
| <p>長嶺 紗子 中学 準特待生 お手本をよく観て、丁寧な筆致で、作品を明るく纏めています。点が見事です。さすがに師範正の作品です。日頃の努力の賜物です。</p> | <p>阪井 浩子 一般 師範正 お手本をよく観察され、丁寧なペン捌きで、明るく書けています。真面目にお稽古に取り組まれている様子が目に浮かぶようです。</p> | <p>玉見 光華 一般 師範 お手本をよく観察され、丁寧な筆致で、作品を明るく纏めています。点が見事です。さすがに師範正の作品です。日頃の努力の賜物です。</p> |